


☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



ヤマシャウヤク

大阪から公害をなくす会

ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪府中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)

第43回公害環境デー

大切なのは人の生命と生存
経済優先から人間と環境を大事にする社会へ

第43回 公害環境デー府民集会

2015年2月1日

大切なのは人の生命と生存
経済優先から人間と環境を大事にする社会へ



2月1日(日)、第43回公害環境デーが開催され、午前の3分科会には約60の方が、午後からの全体会には150の方が参加しました。

基調報告、原発賠償関西訴訟団・森松さんからの支援の訴えに続き、泉南アスベスト弁護団の鎌田弁護士が特別報告を行い、最高裁での原告勝利判決の意義は、①司法の最終判断としてアスベスト被害について国の責任を認めた②産業の発展でなく、国民の生命と健康を優先することを認めた③全国に広がったアスベスト被害の司法救済の礎となる、とし、福島の子供たちも粘り強く戦い続けよう、との呼びかけを行いました。

もう一つの特別報告は、大阪公害患者の会連合会が作成のDVD上映。公害被害者のたたかいの40年の歴史を振り返りました。70年代、国や企業・財界からのマスコミをも巻き込んだ攻撃に対し、粘り強く団結して救済を求めてたたかっている姿、公害の根絶を目指して奮闘する仲間の姿が映しだされました。



ミナマタ検診・三宅医師

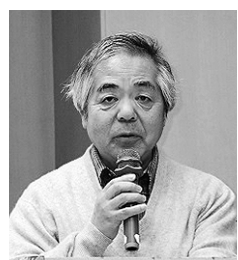
午前の3分科会の報告の後、各分野の取り組みの報告では、寝屋川「廃プラ」公害、現地水俣

ナマタ検診と第二次訴訟団からの訴え、地球温暖化問題、2016ソラダスに向けて報告と訴えが行われました(分科会の詳細は次頁参照)。



ミナマタ弁護団 徳井弁護士

この後、討論後、『大阪都』構想ストップ!を呼びかける府民へのアピールを採択。金谷実行委員長から閉会のあいさつで、まだまだ広い範囲で環境破壊の被害が起こっており、環境を良くしていく運動・公害をなくす運動が必要だ、とまとめられました。



地球温暖化問題 青山先生

参加者からは「幅広い環境問題、公害の原点から今日の地球温暖化まですべて私たちのくらしとかわる問題を学べた」との感想文が寄せられています。

中村 毅 事務局長 基調報告要旨

「今年は『阪神淡路大震災から20年』『戦後70年』を迎える節目の年。春には一斉地方選挙、大阪市では大阪都構想の住民投票、年内に大阪知事選挙、大阪市長選挙もある情勢。今年の公害環境デーでは、私たちの寄って立つ理念・目指すべき社会をスローガンに盛り込んだ。背景には、昨年、福井地裁で大飯原発の運転差止請求に対して住民が勝訴したこと、又、10月には最高裁で泉南アスベスト国賠訴訟が勝利したことがある。選挙にあたって私たちの要求を別途まとめた。皆さんの運動でより豊かなものにしていきたい。」

公害被害者救済運動の分野では「最後の一人が救済されるまで手をつくすことが大切」としました。

その他、公害・環境・公衆衛生、防災、気候変動・温暖化の防止等を報告し、「昨年末の総選挙の結果を受けて安倍政権は様々な分野で政策を後退させている。国民世論と全くかけ離れている。住民運動・府民運動を発展させて包圍していこう」と結びました。